

〔リウマチ・膠原病内科〕

研修の特徴と内容

【特徴】

当科はリウマチ・膠原病(関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、全身性硬化症、多発性筋炎、皮膚筋炎、血管炎症候群、シェーグレン症候群、ベーチェット病、線維筋痛症、リウマチ性多発筋痛症、サルコイドーシスなど)・アレルギー性疾患(気管支喘息、蕁麻疹、花粉症、各種アレルギー、アナフィラキシーなど)を対象として、外来・入院患者の診療、基礎及び臨床研究、一般内科医、専門医の養成に当たっている。

【内容】

① 一般目標 (G I O)

当科の扱う疾患は、いずれも多臓器が侵される全身性疾患であるため、一般内科の知識が基礎知識として要求される。そのため、一般内科研修を行う上で内科全般の基礎知識を身につける修練の場として最適である。そこで、これらの疾患を対象として臨床研修をするなかで、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるように、プライマリ・ケアとしての内科の基本的な診療能力としての態度、技能、知識を身につける。

② 行動目標 (S B O)

1. バイタルサイン、身体所見を迅速に把握できる。(技能)
2. 重症度と緊急度が判断できる。(解釈)
3. 基本的な診断、治療手技が実施できる。(技能)
4. 膠原病・類縁疾患・アレルギー疾患の診断ができる。(問題解決)
5. 膠原病・類縁疾患・アレルギー疾患の治療方針が上級医と討論しながら計画できる。(問題解決)
6. ステロイド薬、免疫抑制剤、生物学的製剤の作用と副作用を理解している。(知識)
7. ステロイド薬、免疫抑制剤、生物学的製剤の作用と副作用を患者に説明でき、治療に協力が得られる。(問題解決)
8. 感染症に対して適切に検査が実施でき、抗生剤・抗ウイルス剤・抗真菌剤が適切に投与できる。(問題解決)
9. 入院患者の栄養管理を適切に実施できる。(問題解決)
10. アレルギー疾患についてアレルゲンの同定ができる。(問題解決)
11. 気管支喘息患者に吸入指導ができる。(問題解決)
12. 当科で実施している検査(胃カメラ、口唇生検、筋生検、腎生検など)について、目的、リスクなどが患者に説明できる。(態度)
13. スタッフと良好なコミュニケーションをとることができる。(態度)
14. ICU入室させる時期を適切に判断できる。(問題解決)
15. 症例提示、症例発表ができる。(技能)
16. 症例について、診断・治療・臨床経過に応じて、適宜、文献検索し、病態の解明、治療につなげることができる。(問題解決・態度)

③ 研修内容(方略)(L S)

L S 1 : On the job training (O J T)

1. 1年次はチームの一員として、指導医、上級医のもと診療に参加し、臨床実習学生を指

導する。

2. 2年次はチームの上級医として診療に参加し1年次研修医、臨床実習学生を指導する。

3. 毎日、上級医と回診し、問題点を整理する。更に、週1回の回診、症例検討に参加する。

④ 教育に関する行事

内科

月 17:30～18:30 内科合同カンファレンス（第2、4週）

症例報告（病理検討会を含む）

各専門科におけるトピックス紹介

リウマチ・膠原病内科カンファレンス

月 8:40～9:05 モーニングセミナー（1-4CF）

15:00～17:30 回診及び症例検討（8-8CF, 11 西）

水 8:40～9:05 モーニングセミナー（8-8CF）

15:00～17:00 症例検討及び回診（8-8CF, 11 西）

17:30～18:30 症例検討・抄読会・カンファレンス（8-8C.R.）

死亡症例報告、臨床研究報告、文献紹介（輪番制）

木 17:00～17:30 初期研修医セミナー（第2週月1回）

また、学外研修会にも随時参加できる。

整形外科・合同カンファレンス

月 18:00～19:00（月1回第3週開催）（8-8CF）

⑤ 研修評価（E V）

1. 自己評価

E P O Cに入力する。

2. 指導医による評価

E P O Cへの入力状況、症例プレゼンテーション、症例検討を通じて評価を行なう。

3. 看護師長による評価

E P O Cを用いて、看護師長からの評価を行なう。

4. 研修内容の評価

研修医によるリウマチ・膠原病内科の評価はE P O Cを用いて行なう。

指導医等

主任教授：佐野 統 教授：松井 聖 講師：北野 将康 講師：東 直人

助教：森本 麻衣

研修実施責任者

教授：松井 聖

リウマチ・膠原病内科 週間予定表

| | 午 前 | 午 後 | 症例検討会 | 備 考 |
|---|--|---|--|---|
| 月 | 外来業務（担当者） 9:30 新入院・重症回診 病棟業務 カルテチェック、 訪床診察により問題点 整理 9：30～12：30 主治医との病状検討、 検査同行、カルテ整理 | 13：30～初診外来実習 13：30～15：00 病棟業務 主治医との検査データの 検討、検査同行、 患者・家族への病状説明、 カルテ整理 訪床診察により病状検査 データの説明 | 8:40～9:05 朝カフェラテ 15：00～17:30 症例検討・回診 17:30～18:30 内科合同カンファレンス （第2、4週） | 外来業務については、 研修センターより担 当者が指定されます。 外来優先で問診をと ってください。 |
| 火 | 外来業務（担当者） 病棟業務 関節エコー | 病棟業務 13:30～ 初診外来実習 | | |
| 水 | 外来業務（担当者） 病棟業務 腎生検 関節エコー | 13：30～初診外来実習 15：00～17：00 新入院、重症者カンファレ ンスと教授回診（11西）、 症例プレゼンテーション の実践 | 8:40～9:05 朝カフェラテ 17：30～ 18：30 リウマチ科症例検討会・抄 読会（8-8CR）、 但し、第3週目は剖検病理 検討会 | 研修医向け症例検討 会は、担当症例の検討 を行います。 抄読会は、臨床や症例 の文献を紹介しても らいます。 |
| 木 | 外来業務（担当者） 病棟業務 化学療法室：生物学的 製剤点滴 | 13：30～初診外来実習 口唇生検（2年目研修医） 病棟業務 | 17：00～17：30 初期研修医セミナー （第2週） | |
| 金 | 外来業務（担当者） 病棟業務 | 13：30～初診外来実習 病棟業務 ウィクリーサマリー作成 15:00 新入院・重症回診 | | |
| 土 | 外来業務（担当者） 病棟業務 ウィクリーサマリー作 成 | 第1、3、5週は、 午前中業務があります。 | | |